

# 事務事業チェックシート

事務事業No 653 事業名 社会教育運営事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	3	生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
基本方針	1	生涯学習推進体制の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		社会教育費
	目		社会教育総務費
	大事業		社会教育総務事業
事項		社会教育運営事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	生涯学習課	生地 顕 (435-1138)
関連課	教育委員会各課	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束	地元教育の推進			

## 1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か） 社会教育委員により和歌山市の社会教育の在り方を審議してもらい、市民にとってのより良い社会教育を構築する。 また、社会教育指導員による市民集会等での指導により、人権問題等の改善を図る。 教育財産として所有する打越山の維持管理。	事業内容 社会教育定例会を開催する。 社会教育指導員を市民集会等に派遣する。 打越山の草刈等を実施する。				
	実施内容	平成25年度 定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等 打越山の草刈	平成26年度 定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等 打越山の草刈	平成27年度 定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等 打越山の草刈等管理 将来、防災公園として活用する方向で適正な担当部署への移管	平成28年度 定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等	平成29年度 定例会議(3回)開催、年間事業計画の審議、社会教育団体への補助金の審議、各種研修会への参加、及び社会教育指導員による指導等

## 2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	1,384	1,414	1,398	1,997	2,644		2,644		2,644	
伸び率(%)	-	-	1.0%		89.1%		0.0%		0.0%	
人件費	常勤職員	6,339	6,339	7,412	7,442		7,442		7,442	
	非常勤職員	502	502	1,004	1,004		1,004		1,004	
	小計	6,841	6,841	8,416	8,416		8,446		8,446	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	16	16	16	444	400		400		400	
一般財源(税等)	1,368	1,398	1,382	1,553	2,244		2,244		2,244	
所要人数	常勤職員	0.83	0.83	0.98	0.98		0.98		0.98	
	非常勤職員	0.24	0.24	0.48	0.48		0.48		0.48	
主な予算内訳	報酬1398、所々修繕596、委託料383									

## 3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値					
		実績値							
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値					
		実績値							
成果指標	委員会開催回数	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	3	3	3	3	3
		実績値			3	3			
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	100.0%	100.0%			
		実績値			1	1	1	1	1
打越山の草刈	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	1	1	1	1	1
		実績値			1	3			
単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	100.0%	300.0%				
	実績値								

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	打越山の管理等現状維持が必要。
「見直し」 「改善」案	